

# 議会だより

北島町議会

第17号  
発行  
北島町議会  
広報編集  
特別委員会

2017.01.30

## 一般会議（中学生との意見交換会）開催

日 時：平成二十九年一月三十日 午後三時十五分より  
場 所：北島町議会 議場  
参加者：北島中学校生徒会執行部・北島町議会議員十三名



本年度も町議会議場におきまして、北島中学校生徒会執行部二十四名の皆様と議員十三名にて一般会議（意見交換会）を開催しました。

まず、冒頭に羽坂議長より挨拶のあと議会側より町議会の仕組み、各常任委員会での役割、活動内容等を武山議員、灰田議員、大溝議員から、議会運営委員会より伊勢議員からそれぞれ説明させて頂きました。補足説明（議会の仕組み等）の添付資料もご覧いただき、幅広い議会活動に対し理解を深めていただけたと 思います。

さて、この度も「人口減少問題」からはじまり「安全安心のまちづくり」、「環境問題」、「国際交流」、「地域活性策」など地域に密着した諸問題、また時世を反映した議員の政務活動費の質問をいただきました。それに対し限られた時間のなかで「町民ファースト」の視点から議員が真摯にお答えさせて頂きご理解をいただけたものと考えます。

### 生徒の感想より

の意見交換会を継続することで少しでも我が街のことに関心をもつていていただくことに大きな期待を寄せて、これからも「街づくり」は「人づくり」を実践して参ります。

- ・次回からは中学生全員を対象に行つてほしい
- ・北島町が四国で一番人口密度が高いことを知つて驚いた
- ・災害が起こった時の対応がしつかり決まつていて安心した
- ・不審者対策を行つていることを知つて疑問が解けた
- ・住みやすい町であることを改めて知つてますます北島町が好きになつた
- ・国際交流事業が充実している
- ・議員の活動が理解できた

質問や回答など要約を次回掲載予定です。

いま議会では、議員全員が議会をより活性させるため、また魅力あふれるまちづくりに向けて議論を重ねています。こ

一般会議  
(保育士との意見交換会) 開催  
**現状を知つて**

い、地域の子ども・子育て支援の充実を図るとともに、次の世代を担う子どもたちが健全に成長できる社会を目指していくことが求められています。

北島町においても様々な子育て支援施策を取り組んでいますが児童保育では待機児童が発生しているのが現状です。今回は待機児童の解消に向けて保育士との意見交換会を設けました。

少子化の急速な進行や待機児童の増加等、家庭や地域の子育てをめぐる環境は大きく変化しています。この環境の変化に対応するため、子育てをしやすい環境の整備を行

町立保育所での保育士の労働環境の改善を図りつつ、施設の老朽化を鑑み、保育所の完全民営化も視野に入れながら今後の施策に反映して参りたいと考えます。

文責 宮本敬行

- ⑤子育てサービス（検診等）を利用するだけでポイントが貯まり、町内の店での買い物に利用できる。  
⑥高校生への奨学金制度があり、Uターン者は奨学金返還を免除する。  
⑦また、議長の提案で、二十七年度より三十歳同窓会を開催し、五十名の参加があつた。

⑧議長の提案で、二十七年度より三十歳同窓会を開催し、五十名の参加があつた。

島根県邑南町



## 日本一の子育て村構想

日時：平成二十八年十月二十六日

千七百三十四人が、二千十五年一万一千百人に減少している現状がある。

転出は、近隣自治体へが多いとのことです、詳細については追跡で

きていないとのこと。二十七年度は、二十五～三十四歳の転入者が増えており、フェイスブック、新聞・雑誌での取り上げによるところがある。転入者は広島県が多い。また県が主催し、県外で移住フェアーを実施している。

特色ある子育て支援、定住促進について触れますと、

- ①移住者が定住促進コーディネーターになり支援をしている。  
②子どもの出生時には、依頼申請に

取り組んでいる姿勢が見て取れる。非常に危機感があります。



文責 武山光憲

## 議会運営委員会研修

島根県邑南町

島根県邑南町は、人口一万一千二百六十五人、高齢化率四十二・六%、合計特殊出生率が一・五人で、二十六年度二・〇七人（六十八名）、二十七年度二・四六人（出生者七十名）の農林業中心の自治体である。自治体が維持できる合計特殊出生率は二・〇七人と言われ、政府及び徳島県は一八人を目標にしている。

ただ総人口が、一九八〇年一万五千人を目標にしている。

- ①子どもの出生時には、依頼申請により、行政無線で戸別受信機に誕生を祝う放送を流している。

②子どもの出生時には、依頼申請に

- ③3歳児が保育所でご飯を炊く。親の手伝いにも繋がっている。  
④子供の誕生届に、出生届けをファイルし渡す。

## 議会運営委員会研修

島根県浜田市

### シングルペアレン特受入



提言がなされ、二十七年度、七つの事業が予算化されました。この中の一つが、総額四百万円の支援を打ち出した介護人材確保のためのU-Iターンの受け入れ事業であります。

全国から問い合わせが百五十三件あり、第一期生募集時で十五名の応募があつたが、面談、見学を通し、最終三名の移住者に落ちています。第二期が三名研修中で、第三期も二名合格しています。

浜田市議会の関わりも、議長自身、定住促進に対する実践活動、受け入れのコーディネーター的な役割をしていました。

やはり、人口減少が大きいという危機感から行政・議会の取り組む意識が違います。

今回の視察テーマであります「人口動態と議会の関わり方」であります。が、二〇一五年は五万八千百二十人と人口減少が六十年間で三十六・五%減となつてお、厳しい状況であります。

子育て、医療支援、また雇用等の支援は進んでいますが、特徴があるのが、定住・U-Iターンへの支援で、介護人材を確保する点から、一人親家庭への資格取得支援を実施しています。

ハローワーク浜田によると、保健師、看護師、介護サービスの求人数は多いが、逆に求職者は少ない事もあり、平成二十六年に十三名からなる女性職員によるプロジェクトが設立され、政策

岡山県浅口市

### 文厚委員会研修

文責 武山光憲

保育所で英語教育

人口は減少傾向が続いており、平成四十二年には三万人を割り込むといわれている。出生数も減少している。保育所・幼稚園共に入園・在籍数とも減つてきている。こども園は、公立一園私立一園。未就園児童は、子育て支援センターで対応している。在園しない

外出中に気軽に立ち寄り授乳やおむつ交換ができる赤ちゃんの駅が市内二十六箇所に登録されており、地域全体で安心して子育てができるよう環境作りを推進している。

保育所での英語教育は、教育委員会が担当すること可能になつた。保育所や幼稚園などでは英語に親しんでもらう授業が主なものである。

情報の発信方法として、ホームページ内に子育て支援情報を集約して配信している。登録者に対して、子育て応援マガジンの配信。スマートフォンアプリの活用を行つてている。

今後の取り組みとしては、幼稚園における三歳児クラスの設置や、幼稚園保育所を幼保一体化施設として就学前の全ての子どもに等しく教育・保育を提供できる環境を構築する。認定こども園を整備していく。民間事業者の認定こども園への参入を支援。中学校校区単位での提供体制の確保充実。平成三十年度から三幼稚園を認定こども園へ移行など。



事業所収集のピットの前で展開検査を行い、点数を付け、一ヶ月五点になると一ヶ月間認可を取り消している。灰の再処理を、ピットにしこンクリートなどの配合に使つてている。清掃センターには広い敷地が必要で、屋根付きの最終処分場を検討している。場内を監視カメラで確認し、会議室でも見ることができる。

平成二十一年度から五年半をかけ竣

岡山県美作市

文責 灰田菊藏

### 最新鋭の焼却場

応し、預かり保育は公立幼稚園で行つており、保護者の運営委員会が主体となつていている。

工。最初は広域ごみ施設に参加を考えていたが、地域的に遠くなることや負担金を考えると自前で建設した方が安いとの結論により離脱。

焼却とりサイクル施設を併設している。日量三十四tをストーカ方式で焼却。八百五十℃を保持し、ダイオキシンの発生を抑制し、灰の量を五十分の一に削減した。排ガスは、無害化排出している。リサイクルの分別は、二十種類更に詳しく分別する。ゴミ袋は有料。持ち込みの場合も有料。

文責 灰田菊藏

# 地域やくらしに明るい未来を

—議会基本条例下での

地方議会議員の活躍に期待—

四国大学大学院非常勤講師

濱 高 公



平成十二

年に地方分  
權改革が行

われ、中央政府の権限はできるだけ  
地方自治体及び議会に委譲されるこ  
とに至った。こうした権限移譲を契  
機に、地方自治体議会をめぐる内外

の環境や状況にも大きな変化が見ら  
れることとなつた。具体的には、町  
村議会などでも分権改革に対応した  
独自の改革が進められ、「議会基本  
条例」なども制定され、議会に格段  
の改革をもたらすこととなつた。

北島町議会でも平成二十二年四  
月、県下ではじめて議員提案による  
「北島町議会基本条例」を制定し・  
施行し、翌年三月には議会基本条例  
に基づく第一回議会報告会を開催し、  
議会室で行つてある。その後も町  
議会では、議会報告会を開催し議員  
の活動状況をわかりやすい形で報告  
し、住民からの意見や要望・質疑に  
応えている。

こうした議会報告会の場は、議員  
一人ひとりの意見や考えが聴取で  
き、住民一人ひとりの意向や考えが  
寄せられて当然であろう。

議会・議員に届くところとなり、一  
方、議員一人ひとりの見識や人柄な  
どをはじめ議員力ともいわれるもの  
が住民にはよく理解・認識され、そ  
うしたことが選挙の際などには、議  
員評価の有力な決め手となればとい  
われる。

議会・議員には、予算をはじめと  
する議案を最終的に確定する重要な  
役割が課せられているが、議会が出  
す結論は住民の意思であり、議会が  
議決した議案はそれが町長提案のも  
のであっても、住民に対し議会とし  
てはその内容で決めてよかつたこと  
が説明されなければならない。それ  
はまた、住民の声に耳を傾けながら  
審議を尽くし、争点を明らかにし、  
結論を導き出した審議の過程なども  
問われなければならない。議会報告  
会では、こうしたことも明らかにさ  
れなければならぬが、その職責を  
果たす議員一人ひとりには、常にそ  
れだけの自覚と覚悟がなければなら  
ない。

こうした地方分権改革の目的が住  
民の主体性や地域の連携・協力を基  
本とした住民全体の社会システムの  
構築にあることを思えば、議会基本  
条例下での議会報告会の役割は重  
く、それだけに議会改革の実現に取  
り組む地方議会議員には大きな期待

# 「女性防災会」発足について

北島町女性防災会長 長岡 優子

## 私たちのお願い



この度、北島町に女性防災会ができました。地震や災害について勉強し、対策や改善点を話し合いながら防災・減災意識の向上につなげていく活動を行っています。一見、堅苦しそうに思えるかも知れませんが、沢山の人々に参加してもらえるよう、気軽にアットホームな会を心がけています。幅広い世代の方と交流を持つことで、新たな地域の輪を広げたいと思っております。議会のご理解をいただき、ご協力をお願いします。

小さなお子様がいる方も、子ども同伴で参加できる会です。又、若い方から高齢の方まで参加できる会です。ただくことで、いろいろな方々の視点が合わさり、より良い意見交換になると思いますので、お気軽にご参加ください。

参加申込先 北島町女性防災会事務局  
088-698-9807

## 自治功労者町村議会表彰

去る二月二十四日徳島県町村議会議長会において、町村議会議員として十五

年以上在職功労者の全国町村議長会表彰と、町村議会議員として十一年以上在職の徳島県町村議会功労表彰が行われた。

北島町からは、全国町村議長会表彰に川村昌司議員・武山光憲議員・大溝典幸議員が表彰された。徳島県町村議長会から灰田菊藏議員が表彰された。受賞された議員の方々おめでとうございます。

# 私のひと言

最近特に地方で議員のなり手不足が明らかになつております。当町議会でも一昨年の選挙で五十六年ぶりの無投票になりました。青年や女性にもチャンスを与えるべく検討をしておりました。議会基本条例の見直し、数々協議・検討したもの一つに議員報酬の値上げもありました。

他町においても報酬増額が検討されているとの報道もありました。当議会としては新たな立候補者に対する排他的な条件を設けたくはありません。しかし現状では年金生活者が自営業者に立候補が限られてしまつています。

町民の代表である町議会の理想的な構成とはどのようなものでしょうか。